

☆☆ **新型コロナウイルス感染症ニュース** 第 51 号 2021.1.18 ☆☆

寒気厳しきおりでございますが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらないなか、先生方におかれましては日々の診療にご尽力されているかと存じ上げます。今号では、新型コロナウイルスワクチンについてと、検体採取をおこなった際に宮城県から支給される補助金についてご報告いたします。

**新型コロナウイルスワクチンに関して**

**新型コロナウイルスワクチン**の接種は収束のための新しい武器として期待されるものであり、多くの市民の方々に安全かつ迅速に接種を進めるために**医師会としても全面的に協力することが必要**と考えられます。今後、新型コロナウイルス感染症ニュースでも随時、仙台での進捗状況を会員の皆様に知っていただき、必要時に迅速な対応、ご協力がいただけるよう情報発信したいと思います。初回は現在準備されているワクチンの特性と、仙台市との話し合いが始められたことについてご報告いたします。

**【新型コロナウイルスワクチンの特性（現時点での想定）】**

	ファイザー社	武田/モデルナ社	アストラゼネカ社
<b>ワクチンの種類</b>	m-RNA ワクチン	m-RNA ワクチン	遺伝子組み換えチンパンジーアデノウイルスベクターワクチン
<b>接種回数</b>	2回(21日間隔)	2回(28日間隔)	2回(28日間隔)
<b>保管温度</b>	-75℃±15℃	-20℃±5℃	2～8℃
<b>1バイアルの単位</b>	5回分/バイアル	10回分/バイアル	10回分/バイアル
<b>最小流通単位 (1回に接種会場に 配送される最小の 数量)</b>	975回接種分 (195バイアル)	100回接種分 (10バイアル)	供給当初：100回接種分 (10バイアル) 残り：20回接種分 (2バイアル)
<b>バイアル開封後の 保存条件</b>	室温で融解後、接種前に生理食塩液で希釈する <b>希釈後室温で6時間</b>	希釈不要 <b>2～25℃で6時間</b>	希釈不要 <b>室温で6時間</b> <b>2～8℃で48時間</b>
<b>備考</b>	抗原となるタンパク質を作り出す設計図となるm-RNAを直接体内に接種する(m-RNAはとても不安定な物質であるため超低温保管が必要)	医療機関では-20℃±5℃の冷凍庫で保管 包装、ラベルともに英語表記のみ	取り扱いが季節性インフルエンザワクチンと同様に冷蔵庫保管が可能 一部包装やラベルが英語表記

(文責：高橋 剛)

## 【仙台市との話し合いについて】

1月12日(火)に仙台市との新型コロナウイルスワクチンについて、第1回目の話し合いが行われました。医療従事者に続き高齢者から優先して接種する計画であるが、現時点でわが国で唯一承認の申請を行っているワクチン製剤であるファイザー社のワクチンは取り扱いが難しいため、メーカー、ディベロッパー、行政、医療が一丸となって取り組む必要性を共有し、保管から接種までのフローや準備について意見交換を行いました。

(文責:高橋 剛)

## 【新型コロナウイルスワクチン接種における仙台市医師会の対応】

現在、国が示しているワクチン接種のスケジュールは、最短で2月末から医療従事者へ、3月末から一般高齢者への接種が開始となっております。また、今のところ日本で承認を申請中のワクチンはファイザー社のものだけです。医療従事者への接種方法は宮城県で検討されておりますが、基幹病院等で集団接種か、それに近い形の可能性もあります。さらに国が目標とする5か月間での対象市民への接種完了を考えると、単純計算で仙台市内では1日に1万数千人の接種が行わなければならないことになります。

以上の状況でワクチン取扱いの難しさと副反応に対する安全性の確保、緊急時の対応、さらに接種時の3密回避の必要性を考えると、当面の接種は広い会場を確保しての集団接種の形態が望ましいと考えられます(ニュース49号では、国の方針としては「医療機関、市町村が設ける会場」とお伝えしておりました)。

今回、仙台市では市内60か所の市民センターを接種会場とする可能性を考えて、急遽1月16日から申し込みが開始される「4月の市民センターの予約」を停止する措置をとりました。医師会としても全面的に協力することが求められております。会員の先生方、医療機関スタッフの方々におかれましては、当初は被接種者としてのご検討をいただき、その後に、平日・休日の集団接種へのご協力をお願いする体制も考えなければならないことが想定されます。

(文責:福壽岳雄)

## **新宮城県新型コロナウイルス感染症対策医療従事者支援金について**

**帰国者・接触者外来設置医療機関、診療・検査医療機関**などで新型コロナウイルス感染症が疑われる方に**直接接して検体採取や診療**を行った医師、看護師、臨床検査技師、歯科医師等の医療職に対して一人あたり一日2,000円が支給されます。対象期間は令和2年2月4日から令和3年3月31日までです。

- ※ 検体採取を行っていただいた場合が対象。診療のみで検体採取の必要が無かった場合は対象外です。
- ※ 振り込みは医療機関宛ですが、支給は**検体採取等をおこなった場合に個人が対象**です。
- ※ 唾液など検体を感染症が疑われる方が自己採取する場合、検体採取の監視等を行うために自己採取に立会う医療職のみ支給対象者として該当します。

問い合わせ先：〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1 宮城県保健福祉部医療政策課医務班

Tel:022-211-2614 (受付時間 平日 AM8:00~PM5:00) MAIL:imu@pref.miyagi.lg.jp

(文責:大和一美)

## **ニュース部より (51号担当 大和一美)**

連日全国で感染拡大しているなか、新型コロナウイルス対策も新たな局面を迎えております。引き続き会員の皆様に有益な情報をご紹介しますので、よろしくお願いたします。

**仙台市医師会へのご意見・ご質問等はFAX、メールでお願いいたします。**

FAX : 022-267-5193

メール : [sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp](mailto:sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp)